

山都町支部体協対抗駅伝大会



11月16日、第10回山都町支部体協対抗駅伝大会が開催されました。今年の参加チームは17チーム。そよう病院から、浜町の商店街までのコースを11人の走者がタスキを繋ぎ駆け抜けました。馬見原公民館での開会式後、寒空のもと緊張した面持ちで17人の中学生がスタートを切りました。

レースは東竹原支部体協の3区の走者、後藤佳子さんが一気に順位を5位まで上げ、それからは徐々に順位を上げ、8区の木實淳治さんが遂に1位まで順位を上げ、見事優勝を果たしました。

最優秀選手賞は8区の木實淳治さん、敢闘賞は3区の枝尾祐希さんが受賞しました。

◆総合成績

順位	体協名	タイム
1	東竹原	1時間7分21秒
2	御所	1時間7分53秒
3	小峰	1時間9分38秒

以下 ④朝日⑤浜町C⑥下矢部東部⑦御岳⑧中島南部
⑨中島東部⑩馬見原⑪菅尾、清和⑬上差尾⑭下名連石
⑮中島西部⑯橘花上⑰二瀬本



◆区間賞

(敬称略、★は区間新記録)

区(距離)	1区(2.4km)	2区(0.9km)	3区(2.3km)	4区(2.2km)	5区(1.8km)
選手氏名 (体協名)	田中世那 (中島東部)	藤本まつり (浜町C)	枝尾祐希 (小峰)	木村隆太郎 (御所)	田中理久 (中島東部)
タイム	★7分48秒	2分46秒	7分05秒	6分48秒	5分40秒
6区(1.2km)	7区(0.6km)	8区(3.1km)	9区(1.9km)	10区(1.2km)	11区(2.2km)
八田光晴 (清和)	木村稔 (浜町C)	木實淳治 (東竹原)	村山浩敏 (御岳)	森崎由貴 (御所)	赤星優成 (浜町C)
3分58秒	1分45秒	8分42秒	6分35秒	3分55秒	7分16秒

山都町表彰(固定資産評価審査委員) 山下 實さん(浜町)

1. 山下 實さんの活動歴
固定資産評価審査委員を平成2年3月22日から平成26年3月31日まで歴任
2. 山都町表彰理由

山下さんにおかれましては、山都町固定資産評価審査委員として、また、評価審査委員長として24年の永きに亘り務められ、山都町固定資産評価審査委員会で重要な立場を担ってこられました。今回永年に亘り多大な貢献をされました山下さんの功績を称え、表彰したものです。



特別叙勲(旭日単光章)受章 故 高橋 松久さん(御所・故人)

11月26日浜町事務所で行われた叙勲伝達式では、今年5月に亡くなられた松久さんの息子さんの秀栄さんが受け取られました。

この叙勲は、長年の地方自治功労に対するもので、故高橋さんは昭和56年9月に矢部町議会議員選挙に初当選以来、平成5年9月まで通算3期12年の長きに亘り在職され、経済常任委員会委員、総務常任委員会委員、経済常任委員会副委員長を歴任するなど、地方自治の発展に大きく貢献されました。



お帰りなさい！ 高橋守雄さん

皆さんは高橋守雄さんをご存知ですか？

1883年に山都町の浜町で生まれ、幼少の頃は山都町で過ごし絶え間ない努力を続け、1908年東京帝国大学を卒業。内務省に入り警視庁警視に、その後は岐阜県や新潟県で警察部長を歴任され1922年に第7代熊本市長となりました。

市長就任後は数々の功績を残され、今も走り続ける熊本市電の整備や上水道の整備、旧十三連隊跡(現在の熊本学園大学正門の隣)の市街地編入を行いました。

熊本市長歴任後、滋賀県や長野県、兵庫県の知事となられ台湾総督府総務長官を歴任。1934年に第34代警視總監に就任されました。

警視總監退官後は故郷の熊本に戻り、東洋語学専門学校(現在の熊本学園大学)の理事や校長となり、熊本商科大学を開校し初代学長になりました。

1957年に亡くなりましたが、高橋さんの生涯の功績を讃え、熊本市名誉市民として、また熊本県近代文化功労者にもなられました。

先日11月21日に中央公民館の前で、高橋さんの胸像が立てられ除幕式が開かれました。除幕式には胸像建立の実行委員会会長である甲斐利幸さんをはじめ、関西山都会会長の吉見猪之助さん、高橋守雄さんのお孫さんである高橋英道さんも参加され盛大に行われました。実行委員会会長の甲斐さんは、「素晴らしい功績を残された高橋さんを町民の皆さんにも知ってもらいたい。今、日本は色々な問題や不安などで消沈している。高橋さんの功績を知ってみんなに活気を付けてほしい。」と話され、またお孫さんの高橋さんは、「生前、祖父は自然豊かな山都町にいつか帰りたいと話していた。やっと地元の山都町に連れて帰れたみたいで嬉しい。」と話されました。